

11/1 洞爺湖リトルシニアから道選抜入り 若松選手が国際大会出場

中学硬式野球チーム・洞爺湖リトルシニアの若松空選手（虻田中2年）が、年末に台湾で開催された日台会長杯争奪国際親善野球大会の道選抜に選ばれました。

若松選手は、打撃力を買われて2年生ながら選抜入り。昨季の全国大会での活躍などが評価されました。下道町長に出場報告した若松選手は「選ばれるとは思っていませんでしたが、バットで活躍したいです」と決意を述べました。



下道町長に出場報告した若松選手

10/30 大舞台で必勝を誓う 西胆振BBCが全国出場報告

洞爺湖町、伊達市の中学生が所属している野球のクラブチーム・西胆振ベースボールクラブが、静岡県で11月に開かれた第21回全国中学生都道府県対抗野球大会に出場しました。

大会を前に阿部隼人選手（虻田中3年）、長谷川碧士選手（虻田中3年）が役場で出場報告し「最後まで全力で戦います」と抱負を語りました。チームは初戦で富山県代表と対戦し、惜しくも敗れました。



全国大会に挑んだ(左から)阿部選手、長谷川選手、以西選手

11/9 雑木伐採に貢献 建設3社のJVに感謝状

豊浦・北辰・不二工営経常建設共同企業体（JV）に、町が感謝状を贈呈しました。

同JVは、道から請け負った大原・成香地区などの土地改良事業を行った際、地域貢献の一環で旧成香小学校の雑木を伐採しました。代表して豊浦建設工業（豊浦町）の金丸淳社長が下道町長から感謝状を受け取り「今後も町の力になりたいです」と話しました。下道町長は「お力をお借りでき、ありがたいです」と謝辞を述べました。



感謝状を受け取った金丸社長

11/8 公共交通の未来を考える 公共交通勉強会を開催

洞爺湖町における公共交通の現状、今後について説明する地域公共交通勉強会が、役場防災研修ホールで開催されました。

NPO法人まちづくり支援センター代表理事の為国孝敏氏を講師として、洞爺湖町の公共交通の課題、これからの取組みについて講演しました。

年々、利用者減少や運転手不足などの問題が大きくなっていることから「利用者の利用目的に合わせた取組みが必要」と説明しました。

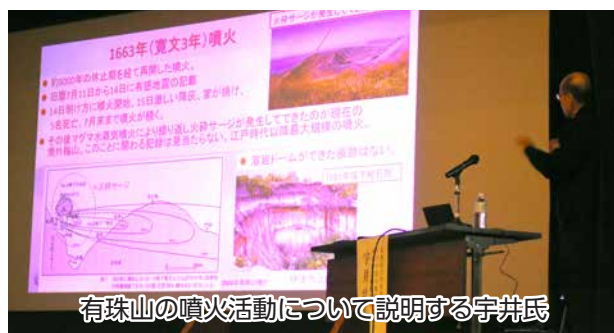


公共交通について説明する担当者、説明を聞く参加者

11/10

日頃の備えの大切さを伝える 防災講演会開催

噴 火に備えた対策について説明する防災講演会「有珠山の次期噴火に備える」が洞爺湖文化センターで開催されました。北大名誉教授でNPO法人環境防災総合政策研究機構理事の宇井忠英氏が講師を務め、有珠山のこれまでの噴火活動や噴火当時の状況を説明しました。また「次の噴火はいつ起きてもおかしくない。火山防災マップを確認したり、避難する際の持ち物のチェックリストを作成することが必要」と日頃の備えの大切さを訴えました。



有珠山の噴火活動について説明する宇井氏

11/10

外来種対策の重要性を訴える 洞爺湖外来種サミット開催

道 内の水辺の生態系を脅かす外来種の対策を考える洞爺湖外来種サミットが、洞爺湖文化センターで開催されました。会場とWEBでの開催で、約130人が参加しました。テレビ番組に出演する国立環境研究所侵入生物研究チーム五箇公一室長と、滋賀県立琵琶湖博物館の中井克樹特別研究員が講演し、洞爺湖に生息する特定外来生物のウチダザリガニの防除活動や、在来生物の保護の重要性を説明しました。



洞爺湖外来種サミットが開催された会場

11/20

町の未来のためにできることを 洞爺湖温泉小がSDGs発表会

道 が進める環境教育プログラム「フロンティアキッズ事業」に選ばれている洞爺湖温泉小学校(柴田暦章校長)が、オンライン発表会に参加しました。参加7校が、持続可能な開発目標(SDGs)に基づいてまとめた各地の特色などを発表しました。温泉小の5、6年生は、洞爺湖の自然や観光についての良さと課題をまとめた「地域未来図」を披露し「洞爺湖を守って行くという意識を持つ」などの行動宣言を発表しました。



町のSDGsについて発表する児童

11/17

地域の活性化に向けて トヨタカーシェア2台目導入

洞 爺湖温泉観光協会(大西英生会長)がカーシェアリングサービスの充実を図るため、トヨタレンタリース札幌と連携し、2台目の車両を導入しました。2021年9月に1台目の導入以降、利用が多かったため、2台目の導入を決めました。1台目は万世閣ホテルレイクサイドテラスの駐車場、2台目は洞爺観光ホテルの駐車場に配置。スマートフォンアプリ「TOYOTA SHARE」の入会会員が利用できるサービスです。



洞爺観光ホテルの駐車場に配置された車両